広報 たまづくり

昭和45年7月10日 毎月1発行回　昭和38年1月23日第三種郵便物認可

= No. 124 =

編集　玉造町役場 広報委員会

発行人　町長　坂本常蔵

印刷所　さんゆう社印刷所

町政日誌 6月

2日　自立農家育成協議会
3日　農免道路竣工式
　　農政活動推進本部総会
8日　鹿行流通対策協議会
10日　民生委員協議会
15～16日　納税組合研修旅行
17日　定例町議会
18日　玉造地区台地揚水事業促進協議会
24～25日　区長・班長研修旅行
25日　農業委員会総会
26日　例月出納検査

防音校舎の建築工事始まる

手賀小 12月末日までに完成

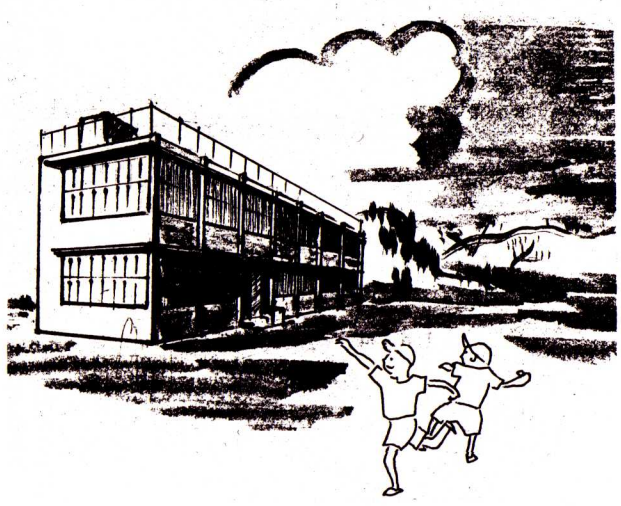
三学期から新校舎で

手賀小学校の防音校舎と、玉川小学校の内装事工が今月中に着工します。手賀小学校は山形工務店が請負い十二月末までに、玉川小学校も山形工務店の施工で十月末までに完工し、それぞれ本年中に新しい校舎で勉強が始まります。

手賀小学校は、前におしらせしたとおり現在の小学校うらの高台の藤見台に、一・一㌶の敷地を、勝田自衛隊の手で造成し、防衛施設庁の建築工事採たくを待っていましたが、このほど事業が採たくになり、いよいよ着工のはこびになりました。

建築する校舎は、鉄筋コンクリート造り二階建防音校舎百四十三・一四平方㍍で、普通教室七室、特別教室として理科、音楽、家庭の各教室、そのほか図書室、保健室、教材室、準備室、職員室、職員室、配ぜん室、機械室、宿直室等、小学校教育に必要なすべての機能をそなえた近代的な校舎となります。

設計は、東京の相和技術研究所の手で行なわれ、施行は山形工務店の請負で実施されますが、今年の十二月末には、霞ケ浦を一望に見渡せる高台に立派な校舎がお目見えします。



手賀小学校完成予想図

玉川小学校の内装工事も十月末までに

一方、玉川小学校は、昨年増築分の駆体工事（ほねぐみ工事）を完了し、今年は、この内装工事と現在使用中の校舎の防音工事（窓を防音装置にする）が実施されます。

増築分は、普通教室二室、視ちょう覚教室、音楽室、家庭教室、図書室、保健室、給食室、準備室などとなる予定で、十月末には完工し、使用できるようになります工事は山形工務店の請負いで施行されます。

これらの工事はすべて、百里基地のジェット機の騒音から児童の教育を守るためのもので、すでに羽生小学校、現原小学校、玉造小学校が改築を完了し、整備された教室で勉学にはげんでいます。

今度の工事が完工すると、小学校では浜小学校を残すだけとなりますが、これもすでに浜の高台に用地を造成し、事業の採たくを待って着工する予定です。

六月定例町議会

六月の定例町議会は十七日午前九時から大会議室で開かれ、午前中に町政一般に関する質問を行ない、その後、町長提出の議案を審議し原案どおり可決しました。

一般質問では、米作転換の状勢から高浜入干拓事業の影響について、農道の舗装計画はどうかなど町長の方針がただされました。今回の質問では高浜入干拓問題が多く、これらの質問に対し、町長の答弁を要約すると、

○高浜入干拓事業は、国や県もその実施が必要とされている。農家に対する影響として、理想的な農業けいたいを作ることは干拓地以外にはなく、周辺農家に悪い影響を及ぼすことはないものと思う。

○農道の舗装については、現在、一般町道については、改良整備をすすめているが、農道は、巾員のせまいところが多いため建設課と産業課で検討する……などの答弁が行なわれました。

六千六百万の補正予算など

一般質問は高浜入問題に

地方自治法が改正したことに伴なって、障害者に対する軽自動車税の減免の範囲を拡大すること、個人の町民税の所得割額等が改正されたものです。

▽玉造町手数料条例の一部を改正する条例について

また、高浜入干拓に対して知事から諮問の意見書に同意しました。

このほか、町長提出の議案と、その内容はつぎのとおりです。

▽玉造町税条例の一部収正について

これまで豚コレラの予防注射は県が主体となり町はその委託ですすめていましたが、これから、町が事業主体となって行なうことにしたものです。手数料は従来どおり一頭につき百円となります。

▽土地改良事業の施行について

農道舗装工事を実施するもので場所は藤井地内となります。

▽町道の一部変更について

芹沢、上山地内にある町道の一部を変更するものです。

▽専決処分の報告について

消防団員の退職報償金として七十万円の補正と賠償金の支払いを専決処分としたため議会の承認を受けたものです。

▽一般会計補正予算について

今回の補正は六千六百五十四万四千円で、その主なものは手賀、立花一協、開拓農協等に貸付金として七百六十万円、上山ージゲタ線舗装などに九百六十万円、道路用地等の購入費四千二百七十万円玉造小除湿工事費などです。

今回の補正で一般会計予算は、七億七千四十九万四千円となります。

みなさん元気ですか

母子保健指導車が活躍

町に母子保健指導車が購入され母子及び一般衛生のために活躍することになりました。

この母子保健指導車は全国母子健康センターが公営競輪協会の収益金の補助を受けて百台をいっせいに購入し、全国の市町村に配属したものですが、茨城県下では玉造をはじめとする三町村に配備されました。

この自動車の購入価格は八十五万円ですが、町で負担した金額は四十五万円、残り分の四十万円は補助によるものです。

これまで、いろいろな予防注射や診断のとき、また一般衛生面でのよびかけや指導のときなど、指導車がないために不便をかこっていましたが、スマートな車が入り能率的になりました。

毎日を元気にすごそうーこのために大きな役割りを果している保健衛生課では、妊産婦、育児の指導はもとより、レントゲンによる健康診断、各種の予防注射、また毎年ときを変え、すがたを変えて発生する伝染病とのたたかいなどみなさんが、健康な毎日を送れるように努力をつづけていますが、母子保健指導車は、これらの仕事に大きな役割を果すものと期待されています。

「母子保健だけではありません。一般衛生にも活躍します。」
母子センターの前で

砂利積込能率アップ

ショベルでO・K

町道の直営工事がすすめられているところから町では、ショベルを購入しました。

いままで、部落などの道路を整備するときに、砂利や砕石などを人の手によって積み込んできましたが、作業のスピードアップをめざしショベルを購入しました。

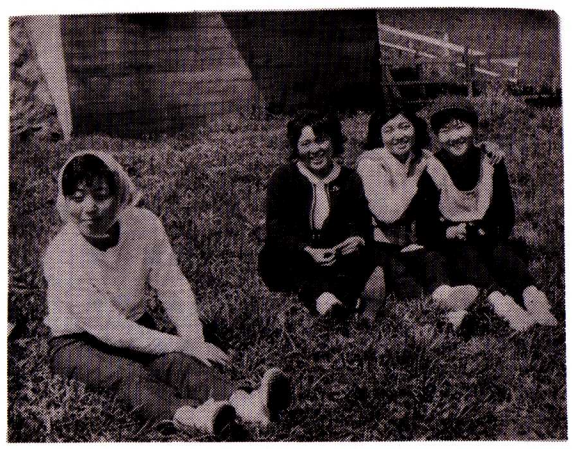
これで、資材の積込み作業も楽になり、工事も能率的にすすめられることになります。

このショベルはバックホー装置で購入価格は四百五十万円です。

建設課では、現在活躍しているグレーダーやローラーとあわせ、いままでより以上に町独自の機動力を利用して維持補修工事や、簡易舗装をすすめています。

パチリ一枚

汗のあとで 自然に親しむ…



一年間のうちには、いろいろな行事、運動がありますが、七月二十一日から八月二十日までに行なわれるのは〝自然に親しむ運動〟です。

機械化や単調労働がふえ、人間性がだんだん少なくなってしまいそうです。その割にはいつも忙しいのはつじつまが合いませんね。

自然に親しむ運動にあなたも参加しましょう。

仕事が忙しかったら、一生懸命働いて汗を流したあとで…。

玉造町は湖あり、山近く、田園のひらける良いところのため〝自然〟そのものの意識が薄くなっています。この機会にあなたのまわりを良く見てみましょう。

七月から保険料が四百五十円に

国民年金の保険料の額は、七月分から四百五十円になりました。

これまでの保険料の額は、三十五才未満の人は二百五十円、三十五才以上の人は三百円と定められていましたが、七月分から年令に関係なく四百五十円となりましたお間違えのないよう今月分からは四百五十円を納めましょう。

5の日は税の相談日

五日・十五日・二十五日は税の相談日です。

税金についてご質問のある方は税務署へお出かけください。

どこの税務署でも結構です。

あなたの住所や氏名を言わなくても自由に相談できます。

お気軽にご利用ください。

五の日が休祭日のときは、その翌日が相談日です。

財政事情書を公表 43年度

町の台所はこうです

◇…地方自治法第二百四十三条の三の規定にもとづく「財政事…◇
◇…情書」の作成および公表に関する条令の定めるところによ…◇
◇…り昭和四十三年四月一日から昭和四十四年三月三十一日ま…◇
◇…での玉造町の財政事情書をつぎのとおり公表します。……◇

公表された財政事情書によりますと、昭和四十三年度の歳入は四億六百二十一万円、歳出三億八千九百四十万三千円で、差引き残金千六百八十万七千円となっています。

一般会計は、当初予算四億一千六十六万一千円の規模でしたが、その後、九回の補正によって、最終的な予算の規模は四億一千百六十六万一千円となったのですが、この予算に対して決算額は前にのべたとおりとなります。差引き残金は次年度に繰越して運営しました。

それでは表を参照してください

私たちの町はどんな財源で成りたっているかを見てみましょう。まず、自己自主財源として町税、地方交付税、繰越金、その他の財源が全体の約半分に当る五五・一％となり、国庫支出金、県支出金、町債などの依存財源が四四・九％となります。

歳入総額に対して、これを町民一人当り換算しますと二万八千百七十九円となります。

つぎに①図で説明したように私たちの町に入ったいろいろなお金はどのように使われたかを見ると別図のとうりになります。

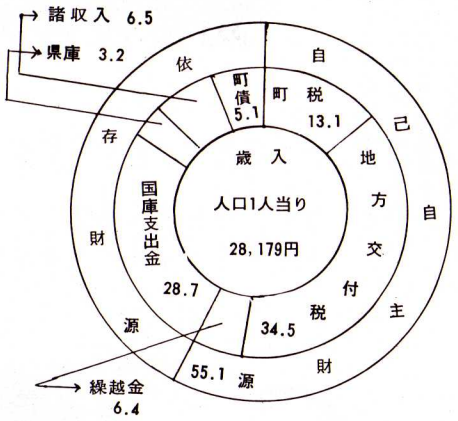
また、私たちはこの一年間に、どのような町税を納めたかを見ると固定資産税が一番多く一人当り千六百八円、たばこ消費税九百四十三円、町民税六百七十二円、電気ガス税二百四十一円、軽自動車税二百三十円の順となります。合計しますと一人当りの町税合計は三千六百九十三円となります。

一方、特別会計の国保関係を見ると、一人当りの歳入金額は七千六百四十二円、これは、保険税として二千八百三十二円、国庫から四千九十九円でなりたっていますこれに対して歳出は一人当り六千九百七十七円となっています。

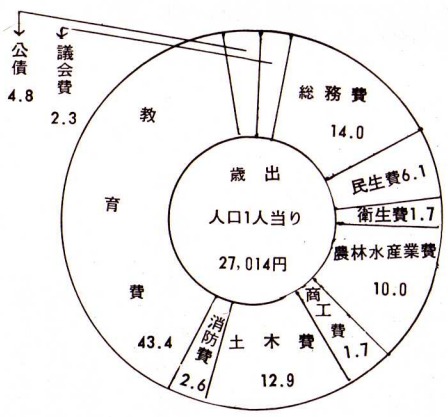
一般会計決算町民１人当りの額

町税 3,693円　歳出総額 27,014円　土木費 3,484円　教育費 11,724円　民生費 1,647円　農林費 2,701円

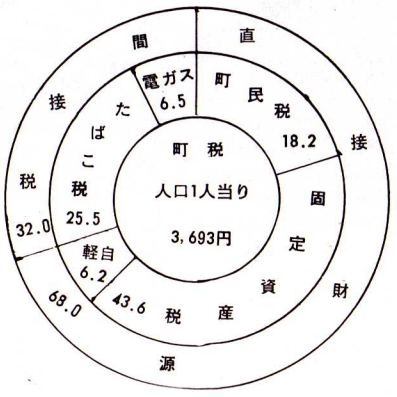
1.どんな財源で成り立つているか



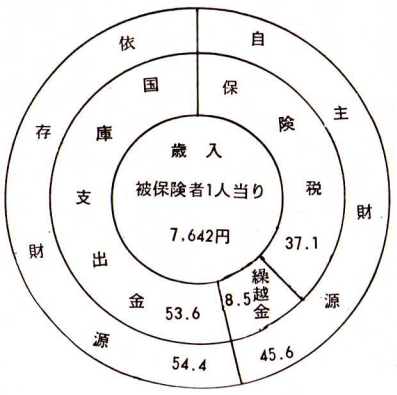
2.町に入つたお金はどう使われたか



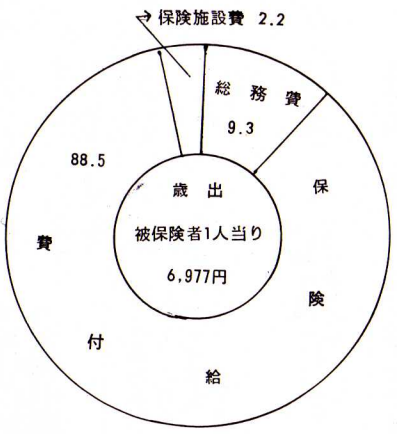
3.どのような町税を納めたか



4.国保の財源内訳はどうか



5.国保の歳出内訳



町有財産の現況

土地 区分	面積	家屋 区分	面積
役場	5,544㎡	役場	1,053㎡
行政機関	248	警察、消防その他	681
学校	105,096	小、中学校	15,974
その他	35,096	幼、公益住宅公民館その他	2,090
山林	10,850		
原野	22,016		
その他	42.755		

機械器具及基本財産

機械器具		有価証券権利		債権基金	
			千円		千円
貨物自動車(大)	3	電信電話公債	1,210	乳牛導入資金	250
〃 (小)	2	信用基金出資金	870	特殊林産物貸付金	740
乗用車	1	自治金融証券	750		
乗用貨物車	1	県文化福祉事業団	115	調整基金	392
消防自動車	2			〃	10,000
ローラー	1			育英	11
グレーダー	1				
トラクター	1				
ハンドトラクター	1				

43年度の一般会計決算

（歳　入）

		決算額	構成比
町民税など	町税	53,248千円	13.1
国からくるもの	地方交付税	140,179	34.5
〃	国庫支出金	116,691	28.7
〃	自動車取得税	4,633	1.1
県からくるもの	県支出金	12,584	3.2
住宅の使用料など	使用料、手数料	4,587	1.1
基金の利子など	財産収入	1,265	0.3
前年度の繰越金	繰越金	25,794	6.4
預金利子など	諸収入	26,369	6.8
各種の事業債	町債	20,650	5.1

（歳　出）

町議会の運営に	議会費	9,050	2.3
一般的な事務費に	総務費	54,461	14.0
福祉の向上に	民生費	23,611	6.1
清掃、保健衛生に	衛生費	6,759	1.7
農林水産の振興に	農林水産費	39,018	10.0
商工、観光に	商工費	6,553	1.7
道路や河川に	土木費	50,071	12.9
消防力の強化に	消防費	9,985	2.6
学校建築、教育に	教育費	168,848	43.4
借入金の返済に	公債費	19,094	4.8
諸物件購入に	諸支出金	1,953	0.5

あとがき

○今月は二面に昭和四十三年度の決算を掲載しました。私たちの税金がどのように、どのくらい使われたか…町の台所はどんな風になっているかを少しでも知っていただけたら幸いです。紙面が二ページのため説明不足ですが。

○今年ほど「ああ、梅雨どきなんだな」と思わせる年はありませんね。ビール麦は刈ったものの長雨が続いて上げられず、つかの間の雨間を畑に出てみると、ビール麦が芽を出していた…と、梅雨は喜ばしいものではありません。

○夏は伝染病の季節です。おなかが痛いな、頭が重いと思ったら注意しましょう。伝染病は見えないところからやってくるへんなくせがあります。もう夏です。みなさんも毎日をお元気にお過し下さい。

出産と死亡

◇おめでた

	父	続柄
赤ちゃん		
笹目靖子	笹目八郎	二女
須田真淳	須田喜一郎	二男
高野浮子	高野整一郎	長女
松本真理子	松本真司久	二女
高橋和夫	高橋正夫	二男
伊藤幸枝	伊藤好之	二女
斉藤浩	斉藤広義	長男
井坂光宏	井坂正志	長男
高田光子	高田末雄	三女
樽見信子	樽見実道	長女
村上友美	村上和弘	長女

◇おくやみ

氏名	年令	続柄	部落
笹目義男	六三	父	谷島
磯部なを	六〇	母	谷島
宮川智夫	四三	妻	捻谷
栗又きた	七二	母	小座木
関口つや	七二	母	荒宿山
海野信	六七	父	横須賀生
風間吉郎	六七	父	羽山
西谷七郎	六八	父	上山
大久保徳次郎	七二	父	井上山
			中山
			柄若海
			貝海

≪45年5月≫